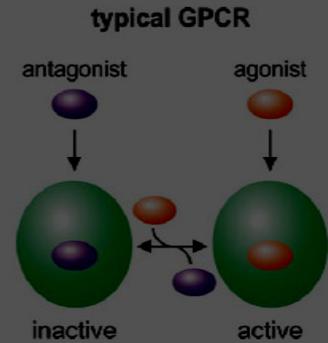
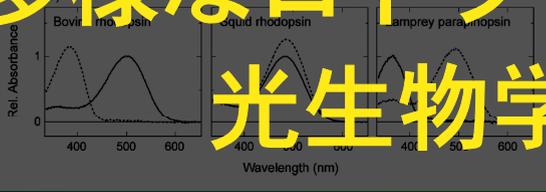




Nagoya Institute of Technology
Physical Chemistry Seminar
 Thursday, September 1, 4:00 PM
 1st Bldg, Room 0112 (K1)



動物の多様なロドプシンから学ぶ 光生物学



科学
 第3種郵便物認可
 kagaku@asahi.com

科学 寺北明久博士 (大阪市立大学 大学院理学研究科 教授)

視覚のクラゲと共通点発見

「クラゲとヒト」の中で光が作る仕組みに発表された。小柳光正・同大講師は、あることが、オランダの寺北明久教授らの研究でわかった。これまでに、クラゲのロドプシンは、材料や構造の違いによって、生物の視覚の進化的関連はないと考えられてきた。寺北教授は、クラゲの視覚システムから進化してきたと考えられる結果だ。原始的な生物から視覚がどう進化したのか、解き明かすかぎになるだといっている。寺北教授は「一人の視覚はクラゲの視覚システムから進化してきたと考えられる結果だ。原始的な生物から視覚がどう進化したのか、解き明かすかぎになるだといっている。」(技術者)

地震速報
 AIC赤池情報量
 ここでln(L)はモデルのよさの指標、Lはデータの似

cyclic nucleotide / ciliary photoreceptor

All inquiries to Hideki Kandori
 Tel: 052-735-5207
 kandori@nitech.ac.jp